

# 令和元年度 第3回豊明市子ども・子育て会議 議事録

令和元年11月15日（金）

午前1時15分から

豊明市役所東館1階 会議室5

## ○出席委員

鈴木会長、松島委員、原委員、桑原委員、石田委員、山崎委員、石原委員、時高委員

## ○議事録

### 事務局

本日はご出席いただきありがとうございます。ただ今から令和元年度第2回豊明市子ども・子育て会議を行います。委員14名のうち、8名の方のご出席をいただいております。過半数の出席がございますので、本日の会議は成立いたします。

議事に入る前に、この会議は「公開等に関する取扱要領」に基づき公開となっておりますが、今回は傍聴を希望される方が1名いらっしゃいますので、傍聴していただいてもよろしいでしょうか。

それでは、ご案内いたします。

はじめに、健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。

### 健康福祉部長

日ごろは本市の子どもたちの教育・保育、子育て支援行政にご理解とご協力を賜り、感謝を申し上げます。これまで4月の基礎調査、事業所団体ヒアリング調査、また7月の子育て関連事業の基本的な考え方、またそれに基づく計画の構成、骨格等についてご議論を賜ってまいりました。本日は第3回となりますが、このような過程を踏まえまして、計画の案としてとりまとめたものをご検討、ご議論いただきたく臨んでいるところでございます。多角的かつ活発なご議論を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 事務局

資料の確認をお願いします。事前に送らせていただきました会議次第と資料1の計画書案で本日は会議を進めさせていただきます。

それでは、議事に入ります。以降の進行については会長の鈴木様にお願いしたいと思います。鈴木会長をお願いします。

会長

議題1「第2期豊明市子ども・子育て支援事業計画案」について、ご説明をお願いします。

委託事業者

(「第2期豊明市子ども・子育て支援事業計画案」に基づき計画説明)

会長

計画案について説明がありましたが、ご質問等がありますか。前半部分は前回提示いただいた調査の概要です。ご指摘頂いた部分に関しては修正いただいております。特に第4章、第5章、計画施策に関してのご質問がありましたら、お願いします。

委員

令和2年からの計画ということで、具体的に推進していく内容は今後詰めていくことになるかと思いますが、せっきくの機会なので、内容によっては令和2年度や5年後にはこの部分は実行できること等を明示した方が、理解が進むと思います。

例えば、「インターネット等を活用した情報発信」、「子育て情報誌の作成」について、時々保育課のホームページを参照しますが、項目が多すぎるために分かりづらく、具体的な情報にたどり着くのが大変です。インターネットでの情報の出し方を工夫していただければと思います。子育て情報誌「すくすくこども」についても、もらってからどのような使われ方をされているのかを把握する必要があるのではないのでしょうか。各家庭に予防接種などこどもの保健に関するあらゆる情報を掲載した保存版の市民向けの冊子があると良いと思います。イベントの主催・検討についても、過去に実施したものや、今後も継続していくものを具体的に掲載されると良いと思います。これだけのボリュームの計画書を読む方は少ないと思いますので、ポイントで何か良い形でのPRができるといいのではないのでしょうか。

会長

ペーパーレスの時代になって、どういう形が市民に情報が届きやすいかというご指摘かと思いますが。現状がどんな形で、もし今後展開するとしたらどういう方向性が良いかということがお分かりでしたら、具体的な数字でなくても良いので、お願いします。

事務局

「すくすくこども」に関しては、母子手帳交付の際に1冊お渡ししています。赤ちゃん訪

問の際にも、受けた質問に沿って、保健師が「すくすくこども」の該当部分を説明するといった使い方をしています。基本的には皆さんに配付しているので、後から取りに来られる方はあまりいらっしゃらないのが実情です。

市ではメール配信での情報発信もしています。妊娠中にメールアドレスを登録すると、市から妊婦教室等の案内をメール配信システムで配信しています、ただし登録されている方が少ないことや、登録すると出産後にもメールが届いてしまうという問題があります。またホームページと絡んで、「チャットボット」の活用については検証までは進みましたが、今後どうするかは市全体の課題かと思えます。子育てアプリについても、他市町村で取り入れているところが増えており、検討すべきだと考えています。

#### 事務局

今の若い世代は基本的に新聞を読まず、広報誌もあまり読まれていない、という現実もあり、ホームページでも情報発信しています。留意するようにはしていますが、ホームページではどうしても情報が固まりがちになるので、メール配信等のプッシュ型の情報発信や、検証中のチャットボット、また、費用面を考えつつアプリについても研究していかなければならないと思います。先ほど委員からお話もありました「なかなか探したい情報にたどり着けない」というホームページの課題についても認識しておりますので、情報をどう整理していくかということも検討していきます。

#### 会長

若い世代の方は活字を見る機会が少なくなっていて、必要な情報をいかに早く得られるかという時代になっていますので、情報も精査していかなければなりません。5年後には全く違う世の中が成立しているかもしれないので、細かい単位で精査する必要があると思います。

#### 委員

今は、市から市民への情報発信という形ですが、逆に市民から提案を行うというのでしょうか。市民同士の意見交換の場に、市の職員または専門家等が同席をして、市に発信することで、相互理解が深まるのではないかと思います。また、意見交換の中核を務めることができると、例えば災害発生時にもそのつながりが起点となり、動けるのではないかと思います。小さくても良いので、市民と市をつなぐ媒体が存在すれば良いと思います。

#### 会長

施策Ⅱ「つなぐきっかけづくり」の内容に繋がってくると思います。

## 事務局

実際には我々の関与していないところで、ツイッター等で情報はたくさん飛び交っているという現実があります。市が主体的にどう関わっていくというのは、公的な意見を発信するという事になってしまい、また、即時性がないという部分でも難しい点があり、市の情報発信には限界があると感じる部分があります。検討はさせていただきます。

## 会長

どのくらいリアルタイムで、どのくらい確実な情報が発信できるかという点が常に拮抗していくかとは思いますが、難しいだろうとは思いますが、その世代に合った双方向性のものになると良いと思います。

## 事務局

市ではありませんが、民間に委託したある児童館では、「行って良かった場所」を保護者に書いていただいて掲示板に貼り出し、それを見た保護者がまた訪れる、というようなあたたかな繋がりが生まれており、評判が良いです。

## 会長

良い例ですね。どこからでも良いので、具体的な知恵が出てくるといいなと思います。

## 委員

素案に外国人の対応について記載されていますが、外国籍の子どもの数について、昨年・一昨年は2,800人、今年で約3,000人、今の段階で3,200人近いと聞いています。保育園、幼稚園にも、外国籍の方がかなり入って来ておられます。今後の話ではなく、今も含めて来年からどういう形で対応してくか、考えていただきたいと思います。通訳だけではとても間に合わないのではないのでしょうか。1～2週間前に来日されたばかりの外国人の方が入園したいと言って来園され、職員が困惑した事例がありました。職員全員が英語を話せるわけではないですし、子どもが体調不良の際に保護者が日本語を話せない場合の対応など、今後外国人が増えることは予測できますので、対応が必要だと思います。計画素案には書かれていませんが、現在実施している日本語学校のボランティアなども含めて、外国人の方への対応についても、具体的な対応を入れることができれば、計画に入れてほしいと思います。

会長

愛知県全体の大きな課題でもあると思います。県内の大学においても、外国人対応に関しては国から強い要請があります。以前よりも様々な国籍の方が増えつつあるので、サポートの仕方も多様化していると思います。

事務局

多文化共生については、市民協働課の方でも大きな課題として取り組んでいます。市の窓口に通訳を配置していますが、ひっきりなしに稼働している現状です。ベトナム人の方等、現在配置されている通訳でもコミュニケーションが取れない言語の方もおられ、早急の課題として市で検討しているところです。このような現状を踏まえ、具体性に欠ける部分もあると思いますが、取組みとして記載しています。

会長

子育て支援課だけで収まる問題ではないと思いますが、子どもに関わる部分に絞って検討し、推進していただきたいと思います。大変重要な問題だと思います。

他にお気づきの点はございますか。

児童クラブについては、6年生まで受け入れているとのことで、色々な問題は解決されてきたと思います。近々問題になっていたのは、ただ預かるだけでなく、例えば塾へ送るなど児童クラブ後のこどもの活動に対して、家庭の要望にどこまで応え、サポートできるかということがあったかと思います。

事務局

放課後児童クラブの利用に関して、待機児童も発生したため、令和2年4月から、実施場所の変更や民間活力の利用による受け皿の拡大を検討しています。コスモス児童クラブは令和2年度からは指定管理として民間活力を活用し、コスモス児童クラブと吉池児童クラブに分割し、受け入れ人数を150名から160名に拡大します。二村児童クラブは、三崎小学校内に場所を変更し、三崎児童クラブとして100名を受け入れます。沓掛小学校内の北部児童クラブは、名称を沓掛児童クラブとして、受け入れ人数を80名から120名に拡大し、今年度の入会希望者が全員入会できる人数となっています。また、令和3年度には、唐竹小学校と双峰小学校が統合され、二村台小学校となります。二村台小学校内に児童クラブを設置し、受け入れ人数を120名に拡大します。

小学校により児童数は変わりますが、一番児童数が多いと言われている5年間は、受け入れが可能になるのではないかと思います。また、6年生まで受け入れ可能な体制としていますが、高学年になると留守番ができるようになったり、部活などで退会されたりするお

子さんもいらっしゃいます。来年度は当初より待機を発生させない計画となっています。以前ニーズ調査の結果にあった保育時間に関しては、委員の皆様と来年度以降検討しながら、その意見を参考に今後市で検討したいと思います。

先ほどお話のあった送り迎えについては、ファミリー・サポート・センター事業で実施しています。小学生に関しては預かるというより、放課後に塾まで送って、塾の後で少し子どもを預かるといったニーズが多くなっています。依頼に対して提供会員の数が少なく、どう確保していくかが、他市町村を含め共通の課題となっています。

会長

構造的に、ファミリー・サポート・センター事業は、依頼人が多い中で提供する側が少なくなっているということですね。どういう人を対象に掘り起こすのか、という点が全国的な問題になっている部分だと思います。良いお知恵がありましたら、ぜひお願いします。これは、ボランティアでしょうか。

事務局

有償です。市民間で直接お支払いすることとなっています。1時間600円、700円で、ご飯を食べさせてあげた場合には少し食事代を貰うということがあります。

委員

提供会員の中には、朝保育園に送っていくなど、複数の家庭を掛け持ちしていらっしゃる方もみえるのではないかと思います。

事務局

原則的には、朝保育園に送って欲しいという人がいると保育園に送っていき、11時から1時間見てほしいと言われるとまたそこへ行って、ということはありません。その条件に合う人を市が探します。また、事前面接をすることになっています。どのようなお子さんかということや、保護者の要望もありますので、豊明市では利用する前に一度面接をして、そこで両方が合意すれば利用を開始できます。

会長

これは一般的に、世の中にあるベビーシッターとはだいぶ差があるのでしょうか。ベビーシッターだとかなり高額かと思うのですが、そちらではなくファミリー・サポート・センターを利用されるときには、マッチングをしているということですね。

委員

1時間約600円と言われましたが、そのことは問題にはならないのでしょうか。いま、愛知県の最低賃金は926円です。ボランティアという意識でやって頂けると嬉しいですが、市として、これだけは出しますよという最低条件があると、より受けていただける方が増える可能性もあると思いますが、いかがでしょうか。

事務局

それもひとつの方法だと思います。

会長

ボランティアだからむしろプラスが600円なのか、マイナスが400円なのかというところもありますね。仕事ではないけれども責任があったり、無かったりという問題なのかなと思います。

委員

最低条件を設定する件について、ある意味で賛成です。0、1、2歳でも保育園の送迎で利用される方がおられますが、慣れてくると車に乗る際などに子どもがわがままを言ったりして大変そうなので、今お聞きしていた600円では厳しいなと感じます。ピアノへの送迎を頼んで助かったという声をOBの方からも、よく聞きました。お母さまたちは働いておられるので、経済的な余裕はあるのかと思います。隙間産業のようではありますが、子育て世代には大切な機能だと思っております。

会長

提供する方について、対象はどのあたりに絞って募集しているのでしょうか。同世代ではないと思うのですが。

事務局

同世代の方もおられます。色々です。

会長

子育てが一段落して、手が離れた方が多いですか。

事務局

ファミリー・サポート・センターを通して預けることで、お互いに責任を持ってできると

ということで、お友達同士で登録をしている方もみえます。そこが全部お友達を受け入れるというわけではありませんが。若いお母様もおられます。

委員

民間の力を使うことはできないのでしょうか。たとえば、児童館を運営している事業者等の多角的な事業のひとつとして実施してもらうなど。600円だから依頼できる家庭もあれば、もっとサービスを受けられるのであれば他のサービスを利用するという家庭もあると思うので、採算が合うのかは分かりませんが、成り立つのかもしれませんが。600円以上出してもいいという方がいれば、民間でも良いかもしれません。

会長

民間だとかなり高額になるのではないのでしょうか。

事務局

確かに高額になります。ただ、保護者の方は選択できることになるかと思います。

委員

そうですね。利用額については、1,000円以上にはなると思います。

委員

安くて、ですね。市町村によって値段は変わると思います。

委員

関連して、「仕事と家庭生活の調和の実現」について、父親の子育て参画について記載がありますが、父親同士のネットワークをつくることも、児童館などに依頼して検討しても良いのではないかと思います。一生懸命子育てをされている方で、朝の送迎時に父親同士がお友達になったという話もよく聞きます。職業にもよるかとは思いますが、お父さんたちも時間を上手くやりくりして、活発につながりを作っているようです。具体的に何かありましたらお願いします。

委員

小学校では「おやじの会」などがありますが、市が主導で行っているものではなく、あくまでも自発的な活動です。現在3団体あります。非公式だとさらにあるかもしれません。

発足している情報が入れば、こちらでもしてみようというような形で、広がりはあると思います。

会長

何かしたいと思っても、どのようなものがネットワークになるのか分からないかと思いますが、「おやじの会」などの情報提供があれば、「自分たちにもできるな」という判断材料にもなると思います。掲示板のような、気軽に情報発信できるものがあれば、簡単に施策に結び付けられる部分もあるのかもしれない。

市民による自発的な活動が生まれてくると良いと思います。市民のニーズ調査の結果からは、基本的に重要なところは大体満足しておられるという傾向が見られます。臨機応変にスピード感を持って取り組まれている結果だと思います。

ご意見があれば、後日でも大丈夫でしょうか。

事務局

ホームページや広報誌にて広報しますが、12月中旬から1月中旬にかけてパブリックコメントを実施しますので、今月中に子育て支援課までご意見等をいただければ、反映させていただきます。修正事項を反映後、パブリックコメントを実施します。その後修正を加え、2月下旬から3月にかけて本会議を開催して計画を確認いただき、完成といたします。

会長

もう一度ご覧いただき、ご意見等がありましたらぜひ言っていただきたいと思います。大変な作業ではありますが、よろしく願いいたします。こちらで議事終了となります。事務局から、何かありますでしょうか。

事務局

欠席の委員には、計画素案を配布し、ご意見を頂けるよう依頼しています。そちらのご意見も含めて進めていきたいと思っております。

会長

委員の皆様もご多忙かとは存じますが、よろしく願いいたします。

以上